

令和6年7月24日

会員各位

公益社団法人 全国上下水道コンサルタント協会  
技術・研修委員会委員長 高橋 幸彦

「第34回技術研究発表会 最優秀発表賞・優秀発表賞」の公表について

拝啓 時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。皆様には日頃から技術・研修委員会の活動に対しましてご理解とご協力頂き、深く感謝申し上げます。

さて、令和6年7月19日（金）に開催しました第34回技術研究発表会において発表された17編の論文の中から、最優秀発表賞1件、優秀発表賞2件を授与いたします。

選考にあたっては論文内容の新規性・有用性を考慮し、技術・研修委員にて口頭発表能力3項目（①発表の分かりやすさ、②資料(PPT)の分かりやすさ、③質疑に対する応答の適切さ等）、及び技術水準2項目（④論文の内容、⑤論文の完成度）について総合的に審査・判断しました。

いずれの発表も水コンサルタントにとって貴重な情報であり、また各社の取り組みや工夫を発表いただきました。これらの発表内容を参考に、今後の業務に役立てていただければと思います。

敬具

第34回技術研究発表会 最優秀発表賞・優秀発表賞 受賞者

■最優秀発表賞：

題目：OpenFOAMを使ったドロップシャフト内水流可視化の試み

氏名：金井 あゆみ 様

所属：中日本建設コンサルタント株式会社 水環境技術本部

受賞理由：

本研究は、ドロップシャフト内の流況を可視化するためには気液混相流の解析が必要と考え、オープンソースの OpenFOAM を使ってドロップシャフト内の流れを解析し、流線や流速の可視化を試みたものである。解析は等ピッチ式と中抜き式の2種類で行い、ドロップシャフト内の流況について流速ベクトル及び流速分布で分かりやすくまとめられており、解析を行ううえでの課題や留意点も整理されている。

今後、気液混相流の解析を行うことで、雨水が流入する際に連行する空気の影響によるマンホール蓋の浮上・飛散防止や貯留管の排気対策への活用が期待される。

■優秀発表賞：

題目：運転実績を踏まえた施設設計諸元の評価及び施設規模検討事例

氏名：酒井 重宏 様

所属：株式会社N J S 九州総合事務所 下水道部

受賞理由：

本研究は、運転実績から設計諸元値を見直して処理能力を評価するために、MLSS 濃度における反応タンクと最終沈殿池の処理可能水量を試算し、処理能力のバランスを考慮して施設規模を検討したものである。諸元値の見直し方法についてわかりやすくまとめられており、諸元値を見直す際の留意点も整理されている。

今後、人口減少や統廃合等において、施設規模を見直す事例は多くなることが考えられ、事業計画の見直しや再構築業務の効率化につながることを期待される。

■優秀発表賞：

題目：官民連携手法を活用した簡易水道事業創設時の経営基盤強化に関する事例報告

氏名：及田 清佳 様

所属：株式会社N J S 水道本部 企画戦略部

受賞理由：

本研究は、伊豆の国市で創設した簡易水道事業について、官民連携を活用し経営基盤を安定化させた事例である。複数のスキーム案を検討し、当該簡易水道事業に最適な手法を採用し、その検討プロセスもわかりやすくとりまとめられている。経営基盤が脆弱な簡易水道事業は全国に散見されており、同様の課題を抱えた事業者の経営改善において有効な事例紹介であった。発表についても、わかりやすい資料づくりと明瞭な説明によって内容がよく伝わるとともに質問に対して的確に回答されていたため、優秀発表賞にふさわしいと評価した。